



麻酔科 グラウンドラウンド



10月4日 (水)

朝07:00-07:50時

トイスラー記念ホール

(聖路加国際病院2階)

演者: Roland Francis 先生

Roland C.E. Francis,
MD

Assistant Medical Director
Department of Anesthesiology & Intensive Care Medicine
Charité - Universitätsmedizin Berlin

Risk Factors for Brain Dysfunction in Anesthesiology and Intensive Care - the role of frailty and ventilation

麻酔・集中治療での脳機能障害リスク因子:
加齢による予備能低下「フレイル」と人工呼吸の関与

高齢者が麻酔や集中治療を受けたり、その過程で行われる人工呼吸によりせん妄や脳機能障害のリスクが高まることが示唆されています。

加齢により様々なストレスに耐える能力や予備能が影響され、適切な介入がなければ重大な転帰に陥る虚弱な状態を「Frail」、日本老年学会は「フレイル」と訳しています。

どうして人工呼吸が脳機能に影響するのか、そして事前の介入でリスクを軽減する可能性についても臨床に即した話をいただきます。

演者予告: 10月13日 Yuriy S. Bronshteyn 先生 (デューク大学 麻酔科)

お問い合わせ: 麻酔科医局 (内線2414)